

## 2015 年夏学期レポート

日本財団聴覚障害者海外奨学金事業  
第 10 期留学奨学生  
山本綾乃

### Ohlone College

サマークラスにはろうクラスが開設されなかったため、聴クラスのみを受講しました。本来ならば、Reading163 クラスの上の 101A を受講したいところでしたが、サマークラスは通常 4 ヶ月間で行われる授業をたったの 1 ヶ月間で学習するため、一回の授業が二回分の速度で進められるのです。さらに課題の量がとてつもなく多いことから、163 より一段下げた Reading162 クラスを受講しました。

#### ○学習面 聴クラス 162

クラスの時間は、朝の 8 時から 10 時まででした。第 10 期生の辻さんと同じ講義を受講したため、専門者による手話通訳とパソコンテイク、そして有志学生によるノートテイクの三つの支援を同時に受けることができました。講義中は手話通訳を中心に、パソコンテイクやノートテイクのデータは頂けるので、授業後ゆっくり読み直しました。

講義内容は、主にテキストに沿って進められました。その他、ターザンの原本を読んで要約したり、ラボワークをしたりしました。毎週水曜日には中間テスト、木曜日には単語テストがありました。必要に応じて、特別措置の配慮を頂いたので、安心して受けることができました。講義の先生も理解のある方で、たくさんのサポートを頂きました。授業後は図書館で Nancy 教授によるチューターを受けたり、ラボワークをしたりしました。ラボワークとは、図書館内でしかできない課題です。長文を読み、内容読解の問題もあれば、自分の考えを要約する問題もあります。一週間で一冊の問題集を終えなければならないため、閉館時間の 17 時まで課題をこなしていました。ラボワーク期間は三週間、三冊の問題集を解きました。答えがないため、担当者に直接回答を採点してもらいました。この方法は、私が小中学校時代に通っていた公文式の方法と似ていてモチベーションが上がりました。

六週間と短い期間でしたが、振り返ると有意義な時間を過ごすことができたと感じています。長い夏休み期間もサマークラスを受けることで、英語に触れる機会を得ることができました。

### ○生活面

今年の夏は去年の夏に比べて涼しく感じられました。サマークラス期間は、フリーモントキャンパスが改築中であったことから、私のホームステイ先から一時間ほど離れたニューアークキャンパスへ自転車を通いました。朝の8時から  
のクラスに合わせて7時前には家を出て、清々しい夏の朝のにおいを感じながら  
学校へ向かいました。17時に終わり、帰宅後は夜中まで課題をこなしたり、試  
験勉強をしたりしました。サマークラス終了後は、アメリカ国内を旅行しました。  
イエローストーン国立公園やマウントラッシュモア国立メモリアル、メサヴェル  
デ国立公園など、様々な州の歴史的な場所を訪れました。将来の目標である教員  
という立場を考えたとき、アメリカ留学体験が大学での勉強だけではなく、交流  
や体験談も幅広く子供たちに伝えられたらと思っています。

### ○今後の進路について

2015年秋からはギャロデット大学大学院ろう教育専攻特別プログラムへ進学  
することになりました。慣れ親しんだカリフォルニアフリーモントを離れるのは  
寂しいことですが、ようやくスタート地点に立つことができました。中学時代か  
らの目標であったギャロデット大学の学生になれたことを自覚し、さらに高い英  
語力や専門的科目の習得を目指して日々勉学に努めます。世界中のろう学生との  
交流も大切にしながら、引き続き有意義な留学生生活を過ごしていきたいと思いま  
す。